

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600730
事業所名	グループホームゆたか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 今年度も「ゆたか祭り」の開催は見送られたが、近隣神社の草取りなどの地域行事には、利用者と共に参加している。 運営推進会議を利用して、地域に対する認知症やグループホームの啓蒙活動も行っており、施設長には地域から認知症や介護に関する問い合わせも有り、ホームの地域認知度は高い。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 行政（東部高齢者相談センター）や区長、民生委員、地域住民、家族が参加し、奇数月に対面での運営推進会議を開催している。 行政からは他施設の運営状況などの情報も得、地域からは苦情・相談なども寄せられている。 駐車場の安全利用に関してのアドバイスを得て、1区画を利用禁止とした。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には東部高齢者相談センター職員が毎回参加し、地域の介護施設の状況や介護事業の動向など、有益な情報が得られている。 市の作品展への参加など、行政とも良好な関係が築かれている。 東三河広域連合から介護保険に関する最新情報なども得て、施設運営に反映させている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） サービス担当者会議や家族会、面会などの際に、家族の意見や要望を聞き取っている。 「職員の顔と名前が分からない」との意見から、写真付きで職員紹介を掲示するなど、速やかな対応に努めている。 ホーム運営に関して、協力的で理解のある家族が多い。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

奇数月に対面での運営推進会議を開催している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎	○							